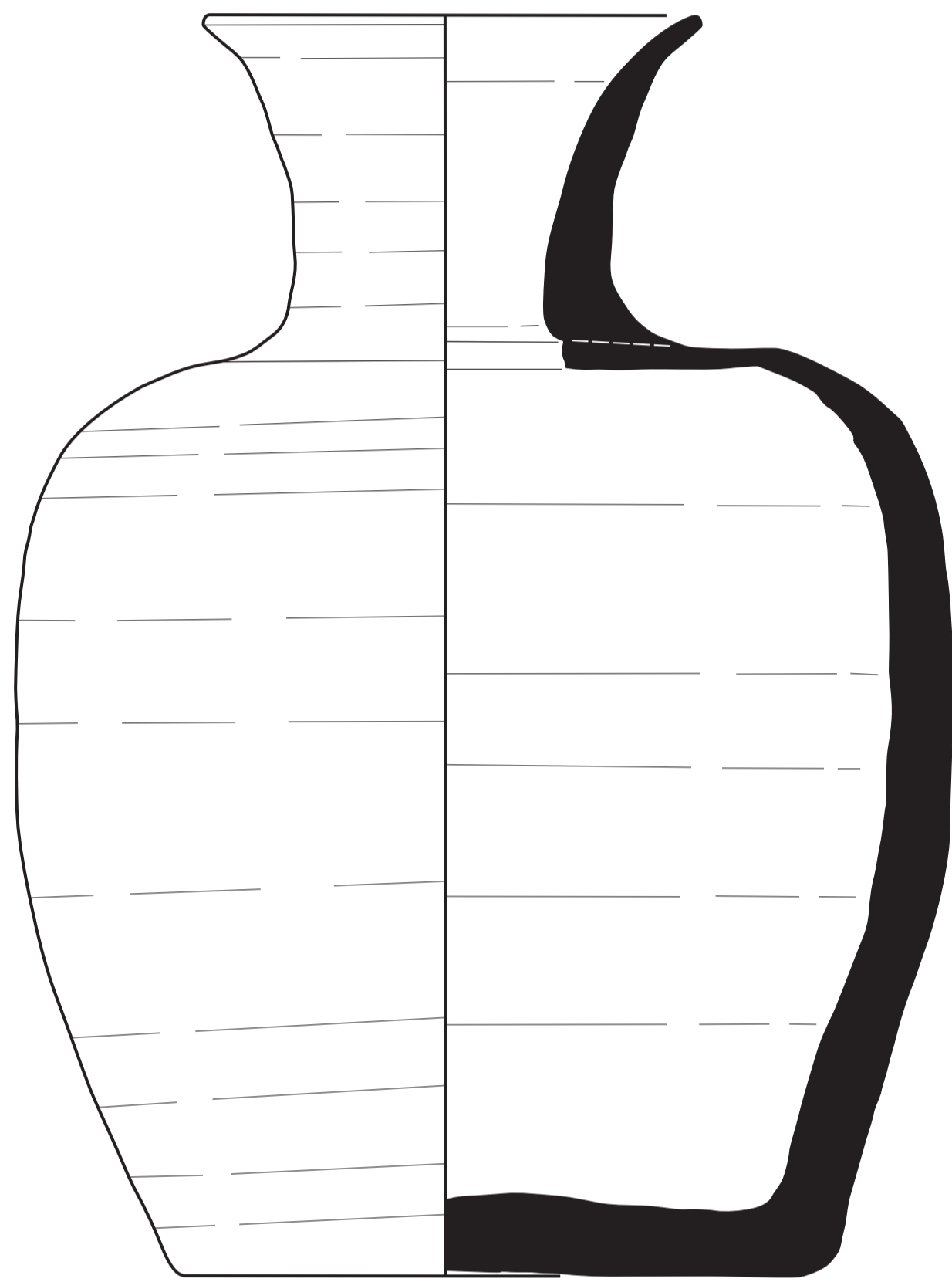


いきなりハードル高いぞ！

須恵器 長頸壺



遺物実測図



遺物写真

資料の概要

- 資料名：須恵器 長頸壺
- 所属時期：平安時代
- 出土地：不明
- 出土年月日：不明

まず最初に紹介するのが、当館所蔵品中でも須恵器の優品に数えられるこの長頸壺です。無高台で寸胴の体部を有し、肩は張るもののやや丸みを帯びています。長頸壺と呼ぶにはやや短い頸部であり、口縁はたおやかに外反します。体部外面には部分的に自然釉がかかっており、美しい景色となっております…。

と、〇〇〇〇鑑定団のような解説を行いました。この資料、全く情報を持っていません。出土地も出土年月日も、なぜ山口大学に収蔵されたのかも不明。「生ける屍」であるかのごとく、当館収蔵庫に眠り続けていました。

さあ、みなさん。特に本学教職員OB、本学卒業生のみなさん。よくよくご覧下さい。どこかで見た記憶がありませんか？ 私の推測ですが、当館所蔵の由来不明品は山口県東部のものが多いので、当資料も県東部出土品ではないか…と思うのですが、予断は禁物。

かすかな手掛かりで結構ですので、何か情報がありましたらお寄せ下さい。